



今号よりリニューアルしました

キラリかがやい人

7月21日に谷地八幡宮で行われるきゅうり天王祭にて披露する、豆奴の練習に奴長として仲間をまとめ取り組む庄司璃空くん。(谷地中部小6年)

将来は、「ステーキ屋になって、高級レストランを開くこと」が夢とのこと。未来に向かって頑張れ。

議会ダイジェスト	2P
質疑の時間	4P
一般質問	6P
委員会レポート	12P
議案の賛否一覧	14P
町民インタビュー	15P
シリーズ みんなの声	16P

<https://www.town.kahoku.yamagata.jp>

シリーズ みんなの声

河北病院統合 どう思いますか？

皆さんからお聴きした声、町政に活かします。



眺葉園へのサポートには大変感謝しております。が、受診したい科目が無い、当直医師が科目外の為に遠方の病院まで行かなければならない事もありました。新病院には更に充実した医療を期待します。



病院の統合は仕方ないことかもしれないが、何よりも町内の開業医を支援していくべきではないか。
どの分野に強い医師なのかを一覧マップなどにして町民に知らせてみてはどうか。



移転は残念だけど、今の西村山郡にとっての最善なら仕方ないと思う。移転したとしても、これまでに近い、それ以上の医療サービスを河北町民が受けられるようにしていただきたい。



今まで地元にあった病院が無くなるのは非常に残念だし、不便になると思います。
新たに、かかりつけの医療機関を探さなければいけないと考えてます。



今の河北病院は患者も少なく心配だ。少し遠くなるが、寒河江市内でも河北町に近いところに新しい病院ができれば、患者も増えると思うし、安心できてとてもありがたい。



帰省していた叔父さんが、処置できないケガをした。夜なので、叔父さんは青くなった。すぐ河北病院へ連れていき、手当てをうける。救急車を呼ばなくてもすむ夜間外来は命綱だ。

印刷／株式会社武田印刷



広報広聴常任委員会
委員長 奥山 英幸
副委員長 林 智
委員 木村 章一
委員 吉田 芳美
委員 安達 智勇
委員 安孫子真弥

議会だよりの編集委員が入れ替わり、新たなメンバーで今号より大幅リニューアルし、無事発行することができました。
多くの町民の方を誌面へ掲載、思いや考えをお聞きしていることがリニューアルの大きな特徴で、同時にまちづくりを活かすことを目指します。
多くの皆様からご協力をいただきましたこと、から、掲載のご理解を賜りたく、議会が身近に感じてもらえる広報誌を目指しますので、どうぞよろしく願います。(おくやま)

あとがき

議会ダイジェスト

今回議決された案件等の一部を紹介します

防災行政無線の更新工事が決定!!

新たな機能で聞き取りの改善に期待

5Pに
質疑記事

ITの推進

自治体システムの標準化で人的、財政的負担軽減



11,320,000円

防災行政無線の契約

機能性能の向上が期待される更新工事



259,600,000円

除雪機入れ替え

経年劣化により河北町民体育館の除雪機入れ替え



757,000円

モデル地区森林管理業務

北谷地岩木地区が対象 計画策定業務



1,575,000円

下水道事業

大規模事故につながらないためにも実施する雨水管調査



場所 ほこえ公園付近
長さ 326m 管直径2.4mを調査

1,419,000円

西村山広域行政事務組合

河北町の分担金



337,370,000円

農業経営支援

麦・大豆の生産技術を促進



21,015,000円

果樹の振興

稼げる園芸農業の追求、生産者をサポート



20,923,000円



今田 智宏さん(高中)

IT推進は便利だと思うが、苦手な人が取り残されないよう、サポートはしっかりして欲しい。



阿部 伸子さん(前西)

雨水管の調査は埼玉県八潮市の事故のことを考えると安心して暮らせるためにしっかり調べて欲しい。



田宮 久子さん(桜西)

議決されたものは、町民皆さんが喜ぶものであれば、とても良いと思う。



庄司 勝也さん(栄町)

昨今の温暖化のことを考えると農家の方への物質的、技術的支援は必要だと思う。

6月定例会

質疑の時間

議決案件の質疑内容を一部紹介します。
全22件の質疑がありました。



6月5日分



6月10日分

教育費

小中学校、公民館、体育館の運営の費用など教育全般に使うお金

消防費

広域消防に対し町が負担するお金や、消防団の維持、災害対策に使うお金

農林水産業費

農道やかんがい施設の整備、営農の活性化、森林、林道の機能保全などに使うお金

総務費

庁舎建物内の経費や人事、企画、財政、徴税、戸籍、選挙、統計など町の統括的な事務事業に使うお金

問 給食センターの冷凍庫修繕の内容は。
学校教育課長 本町給食センターで使用している冷凍庫の扉のパッキンが劣化し冷気が漏れている状況だ。冷凍庫が施設と一体型となっていて特殊な形状であり、扉自体の

現在の除雪機は導入から17年経過
問 主に体育館で活用している除雪機更新の内容は。
生涯学習課長 現在使用しているものは、平

劣化や故障が相次ぎ対応施設備品

聞こえやすい防災行政無線に期待
問 防災行政無線の更新工事により、これまで場所によっては音量が低く放送が聞こえにくい、大きすぎて騒音に聞こえる。
また放送内容の中で、チャイム後に間が空いたり空かなかったりすることがあったが改善

されるか。
問 同じく防災テレフォンスサービスも同症状が発生しているが改善は。放送内容時間の制約もあるが緩和されるか。
防災危機管理課長 音達調査の結果、根拠、谷地工業団地、ひな市、笹本の4か所に新たに



パッキンの劣化が原因で冷気が漏れている給食センター冷凍庫の扉

成20年に導入したもので導入後17年が経過、動作が不調であり、応急処置で対応していたが、使用不可となり修理も不可能と判明したため、新しい除雪機を導入するもの。

機器を増設する。
機能的なものを充実させた音声設備を更新、改善することを見込んで導入する。
親局から文字情報を音声に変換するテキスト送信が可能でありSNSと連携、同時に一斉配信が可能な仕様であり工事中に調整することの改善を図っていく。
放送時間の制約は、



機器の更新で新しいシステムとなる防災行政無線

機能の中で解消される。

問 麦・大豆生産技術向上事業の内容は。
農林振興課長 麦、大豆の生産を補助するもので、申請件数は2件、トラクター2台、アタッチメント6台の補助を予定している。
問 果樹産地緊急支援事業の内容は。

農林振興課長 果樹生産の支援で、スピードスプレーヤー5台分の補助を予定している。
問 園芸やまがた産地発展サポート事業の内容は。
農林振興課長 園芸品目の産地づくりに取り組む事業の支援で、高



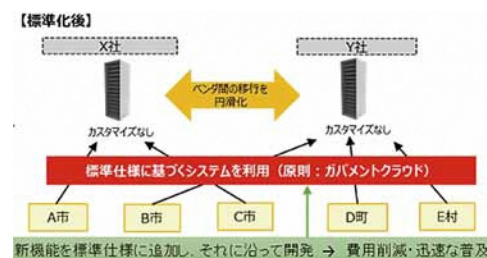
町産の秘伝豆を活用し地ビールが開発された

農業の生産技術や産地を支援
所作業車6台、環境モニタリング機器、パイプハウス2棟の補助を予定している。
環境モニタリングは主にさくらんぼをモニタリングするもので、気温、湿度、土壌の水分、二酸化炭素の量など検出し、自動的にハウスの窓の開閉を行い、環境を整えるもの。

問 今回のIT推進費の標準化・共通化の内容は。
企画財政課長 本年度、自治体システムの標準化移行が行われることに伴う。標準化にはない医療費助成システムと水道の受益者負担金のシス

テムが、標準化システムと密接に関係することが判明した。運営するうえで同じ環境に移行することが望ましいと判断したことから、移行することを決定したもの。また標準化システムを運用していく中、国

から指定されているガバメントクラウド（政府共通のネットサービス）の保守運営を行う必要があり対応する。
問 定額減税補足給付金のシステム改修委託の内容は。
税務市民課長 昨年度に対応しきれなかった方が対象で、減税しきれなかったものに対応するためシステム改修が必要となった。



標準化で人的、財政的な負担軽減が図られる
出典：総務省ホームページ

町政へ政策提言

あなたはどの質問に共感しますか。

10議員が一般質問

一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

P7

奥山 英幸 議員

- ①山形県立谷地高等学校について
- ②河北中学校部活動の地域クラブへの移行について
- ③本町の観光産業について

佐藤 修二 議員

- ①河北町独自の減税について
- ②遊休農地対策について

P8

林 智 議員

- ①文化財の保存と地域活性化をはかる事について
- ②児童生徒が屋外で活動する際の紫外線からの目の保護について
- ③リニューアルオープンした児童動物園の運営体制について

吉田 芳美 議員

- ①西村山地域の「新病院建設」候補地絞り込みとその後の動きについて
- ②会計年度任用職員の公募方法の見直しについて
- ③サン・コーポラス河北(定住促進住宅)の住環境について

P9

鈴木 英友 議員

- ①児童動物園をより良い施設とするための追加整備等について
- ②動物園、どんがホール、中央公園を核としたまちなか賑わい創出を

細矢 誓子 議員

- ①町内在住の外国人が安心して暮らせる環境の構築について

P10

安達 智勇 議員

- ①带状疱疹ワクチン定期接種の流れと任意接種への助成について

木村 章一 議員

- ①水害対策遅れ(溝延堤排水、田井内水、荒小屋排水)について
- ②小中一貫校や小学校の1校統合が町民の願いではないことについて

P11

安孫子真弥 議員

- ①害獣出没など、緊急時における地域住民への周知方法等について
- ②不要になったリチウムイオン電池等の回収について

石垣 光洋 議員

- ①教育に関わる経済的負担の軽減等に対する町の考えについて
- ②河北町の自殺対策について

谷地高校への受験者

確保の見解は

さらなる魅力と情報を

発信する



奥山 英幸 議員



問 現時点での谷地高校への受験者確保の見解は。

町長 谷地高校のさらなる魅力と情報を発信するとともに、今年度の入学から始めた県外からの生徒募集も支援していく。

環境を整えられるよう部活動改革を進める。

インバウンドツーリズム 目指す姿は

問 今年度のインバウンドツーリズム事業の目標、狙い、目指している姿はどのようなものか。

町長 モノ消費からコト消費へ変容している。インバウンド事業に精通している地域活性化企業人の協力のもと、体験観光などを進める。団体だけでなく個人旅行者も視野に入れ体制を強化していく。

国がやらぬなら

町独自の減税を

物価高対策は

国・県を見極め検討



佐藤 修二 議員

町民は減税を願っている

問 新聞の世論調査で国民の73%が減税を望んでいるとあるが国民の声イコール町民の声と思うが。

町長 その通りだ。

問 都市計画税は限度が国に定められているが範囲内であれば町独自で税率を引き下げができるのではないか。

町長 引き下げはできるが目的税として下水道事業などに充てている。減税による減収となれば他の財源で補わなければならない。

問 町民の生活を守ることは町の責任と考え

るが。

町長 さらに物価高へは国、県の対応を見極めながら検討する。

遊休農地で安心安全な食材を給食に

問 遊休農地が増えていく地域コミュニティをつくり無農薬無化学肥料で作物を育て安心

町長 実際に行っている地域の実情を把握する。



解消が望まれる遊休農地

部活動地域移行の進捗状況は

問 部活動の地域移行の取り組みに、他自治体と比較しても進捗に差が生じており、どのように捉えているのか。



産学官連携で活躍している谷地高生

文化財の指定を積極的に

ニーズを捉え評価する



林 智 議員

町民の理解と協力を得て推進を

問 文化財の指定を推進することで特別交付税の対象を拡大しては。

町長 保護価値を評価して行うもの。

生涯学習課長 文化財になるものの多くは町民所有の財産。

新たな文化財施策を

問 新しい地方経済・生活環境創生交付金等を活用した新たな施策展開について。

町長 単に整備だけでなく、その後の維持管理や活用などを考慮し、文化財活用に対するニーズを捉えながら考

えていく必要がある。

将来的健康リスクと教育的配慮を

問 「紫外線が目に見えるリスク」を、どの様に捉えているのか。

町長 白内障や緑内障になるリスク等については認識している。

長時間屋外で行う活動等は、眼科医による



町内に点在する文化財になりうる一例
(滝の沢川)

多様な時間の利用者を考慮すべき

問 児童動物園のトイレの利用時間の検討を。

町長 展示施設と一体化のため、防犯面を考慮し利用時間を制限している。

と、サンクラス等で目の保護が望ましい。

新病院は寒河江市に河北町は4位

極めて残念
運営母体には加わらず



吉田 芳美 議員

問 新病院は寒河江の3か所に絞り込まれた。県立河北病院敷地は4位評価で町民の声が届かなかった。

町長 町民の切実な願いが叶わず極めて残念。

問 新病院の運営母体に町は参画するのか。

町長 現時点では参画しない。

会計年度任用職員

公募の見直しを

問 河北町任用職員は、4月1日現在99人だ。現職の任用職員は、毎年2月末通知の更新決定までの間は、身分の不安定さから不安やストレスを感じている。

国では公募によらない任用も可能とする動きもある。町の認識は。

町長 専門的職種など柔軟に検討を進める。

サン・コーポラス河北

住環境について

問 外国人入居者数は。

町長 2企業と社宅契約。5部屋・男14人。

問 リノベーション物件の、今後の方向性は。

町長 7年度は1世帯の受付予定だ。



サン・コーポラス河北の駐車場

を駐車スペースは利用者、共用通路は行政で除雪すべきだ。

副町長 必要に応じて柔軟に対応したい。

動物園・中央公園の魅力づくりは

施設の整備充実を

図っていく



鈴木 英友 議員

動物園の追加整備は

問 まなび館のトイレ利用時間を午後5時までとしている根拠は。

商工観光課長 閉館時間に合わせている。

問 まなび館に閉館時間はない。せめて7時頃までは工夫次第で対応できるのではないか。

商工観光課長 これまでの利用実態や防犯面を考慮し設定した。

問 まなび館の側面鋼板の安全対策として、現状カラーコーンと注意書のままでいいのか。

商工観光課長 触れて火傷などしないよう、安全対策を検討する。



南側の側面鋼板の安全対策を

問 時計の設置について、どこに、どんな時計を考えているか。

商工観光課長 役場庁舎と動物園が共有する丸形のシンボルなものを考えている。

中央公園への取組みは

問 来たくなる、利用

町長 場所や運営面、管理面等諸課題について調査・検討中。

交流機会や情報発信の取り組みは

地域団体の協力で

交流機会設ける



細矢 誓子 議員

地域、職場での偏見

教育環境の不安

問 外国人の生活実態と、どの様な事に不安を持っているか。

町長 文化や習慣の違いによる戸惑いや、地域、職場での差別や偏見。子供の教育環境に関する不安。

無償で就学が出来る

問 子供の教育支援は。

町長 就学義務はないが日本人児童生徒と同様に無償で就学が出来る。日本語の個別指導が実施されている。

日本全体でも

必要な取り組み



浴衣姿で提灯屋台に参加している
外国人就労者

問 外国人就労支援は。

町長 地域社会の活性化と多様性の向上に貢献。日本全体でも必要な取り組みだ。

問 住民と共生できるシステム構築状況は。

町長 「山形多文化共生プラン」に沿って進めて行く。

災害予防対策に努める

問 生活しやすい環境整備と災害時の対策は。

今後は外国人を雇用する事業所への案内も検討中。

町長 情報伝達、避難誘導体制の整備など、災害予防対策に努める。

地域団体の協力で

交流機会を設ける

問 交流機会の創出や情報発信の取り組みは。

町長 地域団体の協力を得ながら交流の機会を設ける。

带状疱疹ワクチンの 一層の周知を

町報やチラシなどで 周知している

問 令和7年4月より、65歳以上の方などへの带状疱疹ワクチンの予防接種が予防接種法に基づく定期接種となった。

対象者や個人負担金などはどうなっているか。

町長 令和7年の対象者は、全体で1445名。

内訳は、65歳が236名、70歳が238名、75歳が332名、80歳が159名、85歳が157名、90歳が152名、95歳が81名、100歳が15名、100歳以上が30名。

予防接種の費用の約



安達 智勇 議員



期治療が重要となる。さらなる周知の予定はないか。

町長 町報やチラシなどでの周知をしているが、B類疾病であるため、さらなる周知は今のところ考えていない。

早期発見

早期治療が重要

問 带状疱疹に罹患した場合、早期発見・早



带状疱疹でつらい思いをしないために

溝延田井荒小屋の 水害対策を

柏川はチームを集め 早急に対策へ

複数の排水ピットを 田井地区に検討

問 私の調査では溝延柏川に、最大毎分195トンの内水が流れる。調査と水害の対策を。

田井地区は、水害時に対応できる水位の横川管理道路の準備が進むが、溜まる内水の排水ポンプが必要ではないか。

荒小屋の排水機場は、吐出水槽を高くして、能力向上が必要だ。

町長 溝延柏川の内水対策のため、対策のチームを集めた。早急に調査と対策を進める。田井地区は、県で集落内に複数の排水ピット



木村 章一 議員



トを検討している。荒小屋地区は、吐出水槽を1・6m高くする準備を進めている。

魅力ある職場づくりと公共交通充実に全力を

問 町のアンケートでは、魅力ある職場づくりと、公共交通の充実

が求められている。小・中学校の縮小再編ではなく、それらの課題に、町の知恵と財政を全力投入すべきだ。



押切地区に完成した
毎分最大45トンの排水ポンプ

熊出没など

住民への周知方法は

防災無線 広報車

LINEなどで



安孫子 真弥 議員



て回収するつもりだ。

鳥獣保護管理法への 対応について

問 熊等の銃猟を町長が捕獲者に委託して実施できるようにするが、本町の対応は。

町長 関係者と情報共有しながら対応する。



6月22日 谷地中心部を走り回る熊

小中教育費 負担の軽減を 様々な支援を行っている



石垣 光洋 議員



問 教育に関わる経済的負担の軽減について。

町長 町は保護者の費用負担を軽減するため様々な支援を行っている。学用品や修学旅行費などは保護者が負担している。

町は「かほく安心子育て応援事業給付金」を通じて、小学校と中学校の入学時にそれぞれ5万円を給付している。

また、教材備品の整備も計画的に行っており、令和6年度には小学校で約411万円、中学校で約200万円を支出している。



無償化となっている河北町の給食

受け止め方教育の実施

問 河北町の自殺対策について。

町長 町は自殺対策計画を策定し、健康セミナーや相談会を開催している。令和元年から令和5年の間に町内での自殺者数は1人から3人で推移しており、

子どもの自殺者はいない。町は「SOSの出し方・受け止め方教育」を実施し、悩みを抱え込まずに相談することの重要性を教えている。令和7年度も町内全ての小中学校でこの教育を開催する予定だ。

リチウムイオン電池等の 回収について

問 環境省は家庭から出される不要になった

町長 防災行政無線の更新工事に加え、様々な手法を検討していく。

問 今後の展望は。

でも情報を得られるが、スマートフォンなどを所持し、かつ登録していただく必要がある。

生活環境企画主幹 役場等に回収缶を設置し

問 当面の対策は。

すべてのリチウムイオン電池を市区町村が回収するよう求める通知を出したが本町の対応はどうか。

町長 クリーンピア共立や構成市町とともに検討を行う。

町の課題を 調査・研究・提言 します

総務産業常任委員会

安全・安心なまちづくり 地域の活性化

気候変動や自然災害による生活環境や社会情勢の変化にも適切に対応し、町民の生活を守り、地域とともに住みやすく暮らせるまちづくりを目指します。

考え、活動を推進します。

その他の主な取り組み

- ・人口減少対策についての調査・研究。
- ・病院や学校統合についての中長期的な財政負担等の課題把握。
- ・委員会活動を通しての情報収集と調査研究の更なる強化。

安全・安心なまちづくり

防災対策、減災対策、空き家対策等の課題解決に取り組みます。

町民としての防災意識の向上と、町としての防災力のレベルアップに繋がる活動を推進します。

地域の活性化

持続的かつ健全な地



林 智 委員
東海林信弘 委員
木村 章一 副委員長
鈴木 英友 委員長
細矢 誓子 委員
奥山 英幸 委員

厚生文教常任委員会

暮らしやすい 持続可能なまちづくり

令和7年度活動テーマ

- ①小中学校教育環境について
- ②高齢者支援の拡充について
- ③地域に優しい除雪について
- ④地域公共交通再構築について

以上を重点活動として取り組みます。

教育環境の充実

小中学校の整備に向けた基本方針が策定されました。

児童生徒がより良い学校生活を送ることが出来るように努めます。

高齢者支援の充実

高齢者の居場所づくり等の支援事業をさらに前進させます。

地域に優しい除雪

生活道路・通学路の

地域公共交通再構築

確保と間口除雪・除排雪の除雪体制を維持継続し、地域にあった課題解決を推進します。



安孫子真弥 委員
漆山 光春 委員
吉田 芳美 委員
増川 憲一 委員長
佐藤 修二 副委員長
石垣 光洋 委員
安達 智勇 委員

広報広聴常任委員会

誌面を通し 身近な議会を目指す

議会だよりの編集委員が入替わり本号より、リニューアルを行いました。

常にブラッシュアップ（改善）をいっつ、町民の皆様には誌面を通し、議会が身近に感じられる広報誌を目指します。



安孫子真弥 委員
吉田 芳美 委員
奥山 英幸 委員長
林 智 副委員長
木村 章一 委員
安達 智勇 委員

議会運営委員会

開かれた議会活動と 議会改革

議会は意思決定機関

議会の権限は住民に関する重要な事項を決めることです。

少子化・物価高・経済衰退・人口減少の中、住民の代表である議会は、町の意思の決定と監視機能の役割をこれまで以上に強く意識し議論します。



増川 憲一 委員
佐藤 修二 委員
石垣 光洋 委員長
細矢 誓子 副委員長
東海林信弘 委員
鈴木 英友 委員



丸山清二さん・香織さん(高南)

河北町への移住理由は
米沢市から夫婦で河北町に令和6年11月に移住しました丸山です。丸山という名字は河北町に1軒も無いようなので、皆さんに覚えていただけたらと思います。河北町には縁もゆかりもない状態で移住して参りましたので、

選択した経緯は
賃貸もいいのですが、毎月の支払いを考えた

聞いてみました
いかがですか**河北町**

移住定住者インタビュー

皆さん宜しくお願いします。
まだ先の話になりましたが、老後は夫婦で静かでゆっくりのんびり過ごしたいと思いながら、雪の少ない山形市や上市市などを見て回りながら、最終的に「河北町の地にたどり着き」戸建て空き家物件を購入しました。
また、河北町には無料の児童動物園があり、1歳の孫が遊びに来たとき「喜ぶ姿を見て」それも、移住する理由のひとつになりました。

住んでみての町の印象は
とても静かで、買い物するにも便利などころなので、とても住みやすい町だと思います。地域の方も隣組の方も親切で、公民館掃除にも誘われました。仕事の方も、町内や天童市の企業にお世話になる事が出来ました。

町への要望は
今のところ満足していますが、町全体が新しいことへのチャレンジをしてくれることを期待しています。

一目でわかる議案の賛否一覧

<6月定例会>議第31号、32号は5月9日臨時会

議案 番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議決 結果	漆山 光春	東海林 信弘	林智 憲一	増川 憲一	安孫子 真弥	木村 章一	奥山 英幸	安達 智勇	佐藤 修二	鈴木 英友	石垣 光洋	細矢 誓子	吉田 芳美
31	河北町町税条例の一部を改正する条例の制定の専決処分 地方税法等の一部を改正する法律が令和7年4月1日に施行されたことに伴い、 町税条例の一部を改正する必要があるが生じた	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分 地方税法等の一部を改正する法律が令和7年4月1日に施行されたことに伴い、 国民健康保険税条例の一部を改正する必要があるが生じた	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	令和7年度河北町一般会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ8052万円を増額、歳入歳出の総額は108億3752万円 「麦・大豆生産技術向上事業費補助金」の追加など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	令和7年度河北町下水道事業会計第1回補正予算 営業外収益に、大規模下水道管路特別重点調査事業にかかる国庫補助金として 70万円を追加、下水道事業収益を6億2263万円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	河北町町税条例の一部を改正する条例の制定 地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことにより、町税条例の一部を 改正する必要があるが生じた インターネットを用いる方法に伴う改正など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	河北町防災行政無線更新工事請負契約の締結 条件付き一般競争入札を執行した結果、NECネットエスアイ株式会社山形営業所 所長 佐々木洋徳が2億5960万円で落札	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	河北町固定資産評価審査委員会委員の選任 固定資産評価審査委員会委員 半澤信夫氏が令和7年6月30日に任期が満了 することに伴い、その後任者として、庄司宏和氏を選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	令和7年度河北町一般会計第2回補正予算 歳入歳出それぞれ38万円を増額、歳入歳出の総額は108億3790万円 投票所の投票管理者等の報酬引き上げの費用の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	河北町特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定 国会議員の選挙などの執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が 施行されたことに伴い、条例の一部を改正する必要があるが生じた	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

押切排水機場ポンプ 運転開始式

令和2年7月豪雨により最上川が増水、押切地区の住宅浸水被害などが発生しました。排水樋門を閉鎖し強制的に最上川へ直接排水ができるよう、常設の排水ポンプ施設を整備、内水による浸水被害軽減を図るために工事が行われ、令和7年5月に運転開始式が執り行われました。



地元住民も参加した運転開始式典



押切排水機場ポンプの試運転

傍聴者インタビュー

生の議会はいかがですか？

議会傍聴に

来られた動機は

退職を機に時間的な余裕が生まれたことから、人生の先輩たちから、議会傍聴へのお誘いをいただいたためです。

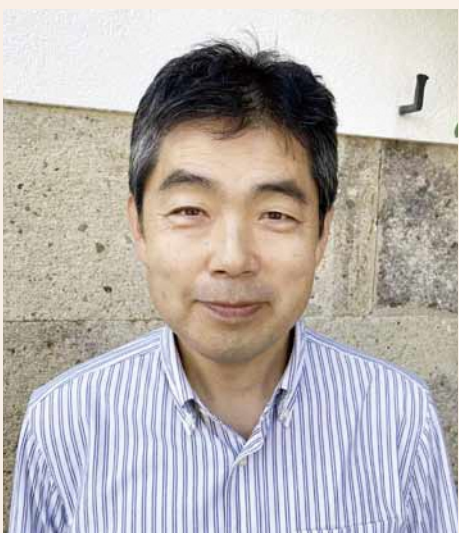
傍聴した感想は

議員の質問に対して、町側が丁寧に答えていた印象を受けました。傍聴者には、質問の要旨は配られるが、詳しい資料は手元にはありません。

分かりやすい質疑応答となるよう、質の向上をなお一層求めます。

議会だよりについて

ペーパーレスの時代になりましたが、情報



真田 伸夫さん(桜東)

議会(議員)に 望むことは

傍聴した方々との休

憩中の短い対話の時間が、非常に楽しめました。
すぐには答えの出ないような難しい課題に対しても、穏やかに語り合う時間、豊かなコミュニケーションの場に、まちづくりのヒントやアイデアが生まれるのではないのでしょうか。
社会教育の観点からも、そういった対話の場づくりに応援をお願いします。